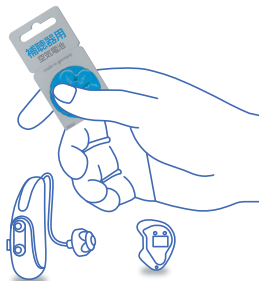
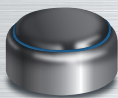


冬の電池の 上手な使い方



空気電池は、周囲の温度や湿度に大変影響されやすい電池です。電池を保管される際、ご使用になられる際はお気をつけください。



電池は化学物質で構成されています。一般的に化学物質は、寒いと活動が鈍り、温かいと活発になります。

冬場の電池寿命が短い原因は、環境温度が大きく関係しています。

冬のご使用上の注意

電池寿命を縮める
3大要因



低い温度

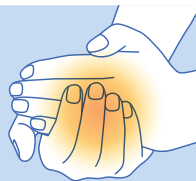


乾燥



二酸化炭素

新しい電池を入れても補聴器が作動しない、すぐに電池交換アラームが鳴る場合は、**まだ電池が反応していないサインです。**手のひらなどを使い、体温で電池を温めてからご使用ください。





寒い季節は、もう少し長く待つ

通常はシールをはがして1分程度で使えますが、寒いところでは反応が遅く、使えるようになるまでさらにお時間を要します。



電池は乾燥ケースに入れて保存しない

補聴器に電池を入れたまま、乾燥ケースに入れると電池寿命は**54%~65%*** (シールをはがした状態で、乾燥ケースに12時間保管した場合)に短縮します。補聴器を乾燥ケースに入れる際は、電池を取り出して保管しましょう。



お部屋の換気をこまめにする

石油、ガスのファンヒーターやストーブをご使用のお客様は換気を十分に行わないと、電池の寿命は**64%~77%***程度に短縮します。ご使用環境の乾燥状態と二酸化炭素によって本来の電池寿命より短くなることがあります。



電池が十分に反応していなければ、電池チェッカーを使って十分に表示されません。電池の不良ではございません。



その他、ワイヤレス、Bluetooth、ノイズキャンセリング機能をご使用の場合も、電池の消耗が激しくなり、寿命が短くなります。

*データ出所:一般社団法人電池工業会



p312



p10



p675



p13

power one EVOLUTION

容量約**15%アップ**
近日発売予定

バーチャル展示会
power one world はコチラ

